

## 倫理 第9回「 イスラーム—啓示と戒律の宗教 」

○今回のポイント

世界三大宗教の一つのイスラームは厳格な一神教。  
イスラーム原理主義はなぜ発生したのかを理解しよう！！

### イスラーム世界の成立

○イスラームとは

- ・唯一神[① アッラー]への絶対的服従を意味。
- ・アッラーが定めた人類が守るべき規範([② シャリーア])に従うこと。  
⇒[③ ムスリム]…シャリーアに従う信徒を指す。

○開祖[④ ムハンマド]

- ・[⑤ ヒジュラ]…神の前での人々の平等を説き、偶像崇拜を批判したのでメッカの支配層の迫害を受け、メディナに逃れる(622年)。
- ・[⑥ ジハード]…聖戦。イスラームを広め神の言葉を普及させるために各地を征服。語源は「神のために奮闘努力する」であり、戦闘行為だけでなく、自己との戦いも意味していた。

### イスラームの教え

○[⑦ 偶像崇拜]の禁止…アッラーは創造主で絶対的な存在なので偶像化され得ない。

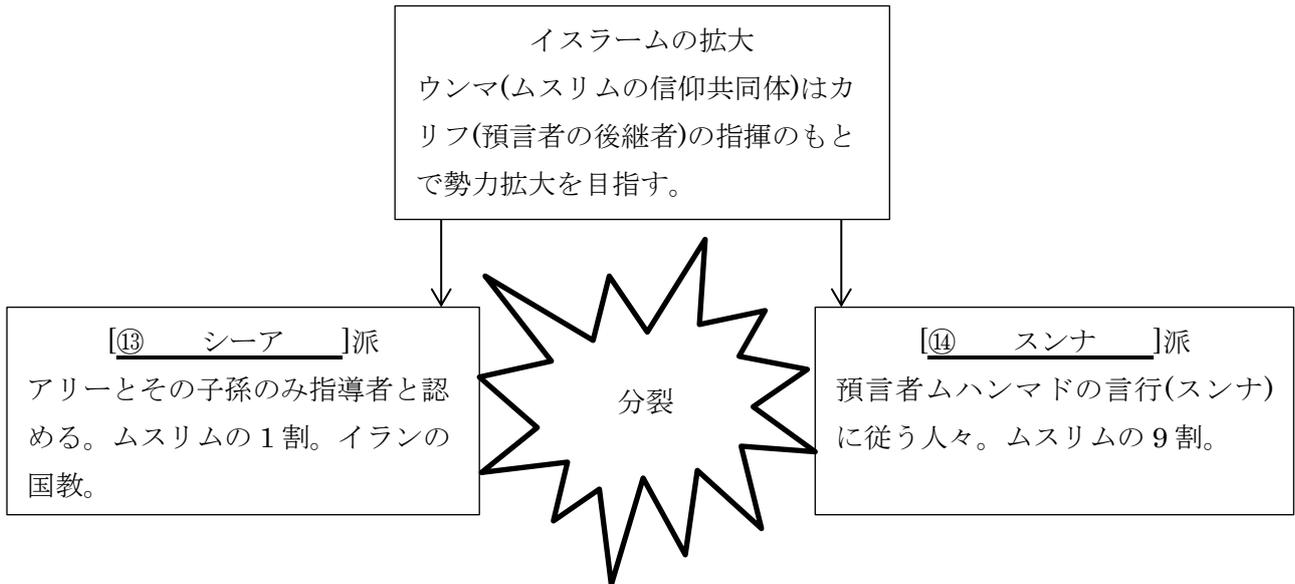
○六信・五行

六信		五行	
ムスリムの信ずべきこと		ムスリムが実践すべきこと	
神	唯一神アッラー	信仰告白	「アッラーの他に神はなし、ムハンマドは神の使徒なり」の聖句を唱える。
⑧天使	神に仕える者。最上位天使ガブリエルはムハンマドに啓示を与える。		
啓典 (聖典)	神が天使を通じて人間に伝えた啓示の書。 コーラン、律法の書、福音書など	礼拝	1日5回、メッカに向かってお祈り
⑨預言者	人類の指導者。ムハンマド、アダム、ノア、アブラハム、モーセ、イエスが6大預言者	⑩断食	イスラーム暦における9月に1か月間、日の出から日没まで飲食を避ける。
来世	人は現世の行動について神に裁かれ、来世において必ずその報いを受ける。	⑪喜捨	イスラーム独自の救貧法。財産の一定の割合を教団に納める
天命	すべてがアッラーの支配を受ける。	巡礼	一生に一度は聖地メッカに巡礼を行う。 イスラーム暦12月が正式の巡礼月

○[⑫ 用益権]…全ての所有権は神にあり、ニゲンには物を用いる権利だけ与えられているので、物は常に用いられなければならないとされる。そのため、お金は貯めるよりも動かすべきで利子も禁止される。

## イスラーム世界の展開

### (1)シーア派とスンナ派の対立



### (2)イスラーム文化

- ・ギリシャの学問を受けついでイスラーム文化は独自の科学や哲学を打ち立て、西洋近代の学問・文化にも深い影響を及ぼす。

☆【15】 12世紀ルネサンス …12世紀、イベリア半島のトレドやシチリア島のパレルモを中心にアラビア語に翻訳されていた古代ギリシャのアリストテレスなどの著作のラテン語への翻訳・研究が盛んとなって、各地に大学が出現する。

## 現代世界とイスラーム

☆イスラーム原理主義はどうしておこっているのかな？ 考えてみよう！！

【16】 ソ連 が崩壊して、アメリカが唯一の超大国となる



【17】 グローバル資本主義 が世界を取り巻き、資本主義は競争社会なので経済的敗者が生まれる



経済的敗者を放っておくと弱者が固定化、再生産され、社会が停滞したり、デモや反乱がおこったりするので富の再配分を行うのが【18】 福祉国家 。だが、国家財政を圧迫。



【19】 新自由主義経済 の考えが生まれ、社会保障費を削減。小さな政府は自己責任論を展開する。



負け組は貧困階層として固定化され社会的上昇も望めず、自己責任論によって自己肯定感も喪失し、社会に対して絶望する。



人は宗教に救いを求め、資本主義に対するアンチテーゼとして提示された【20】 宗教原理主義 に走る。